

合同記者会見資料

令和3年8月12日（木） 11:00

国土交通省 九州地方整備局

国管理河川と各県の予想雨量について

大雨の見通し 上段【12日6時～13日6時】

下段【13日6時～14日6時】

佐賀県 : 180mm
200~300mm

長崎県 : 250mm
200~300mm

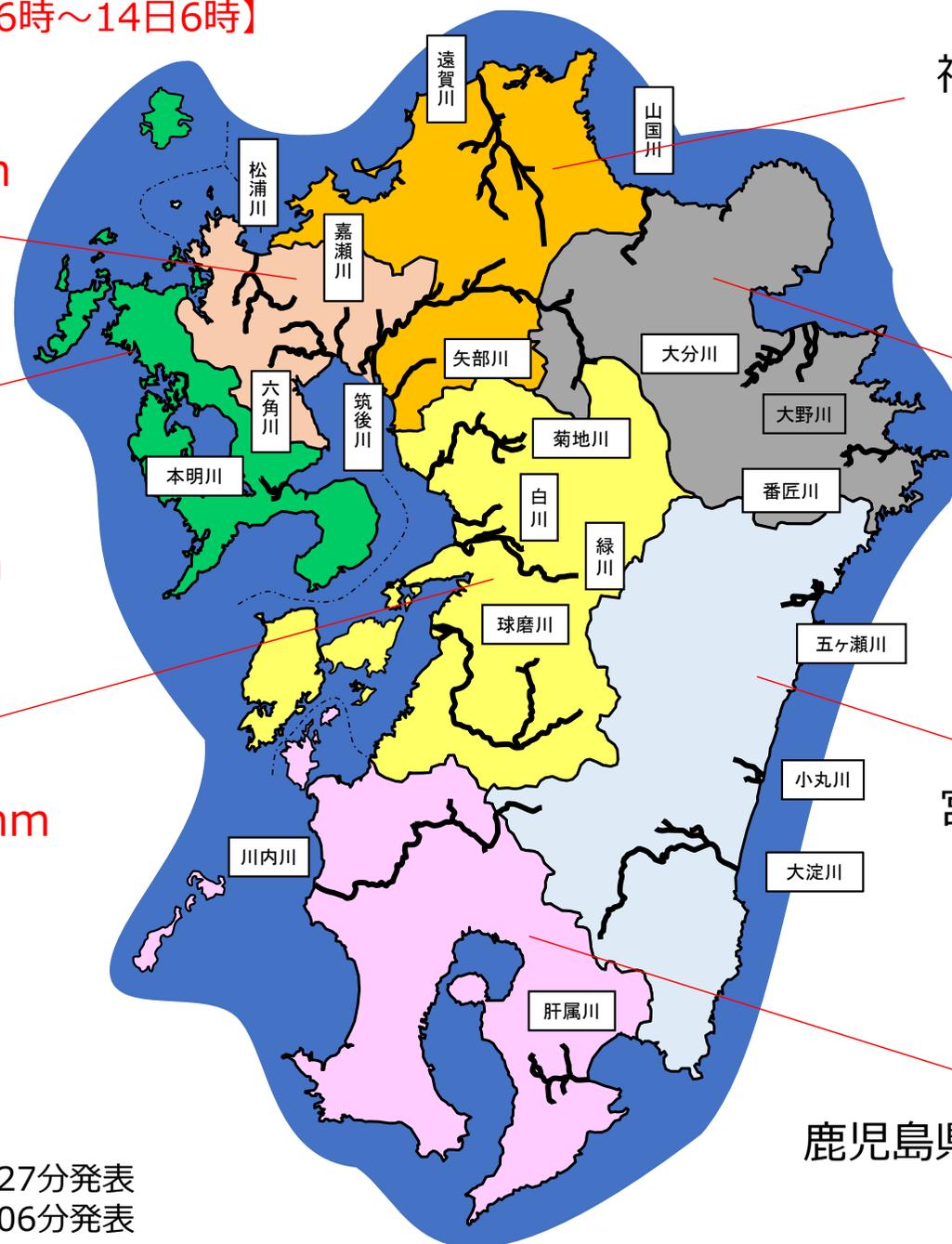
熊本県 : 300mm
200~300mm

福岡県 : 150mm
200~300mm

大分県 : 250mm
200~300mm

宮崎県 : 200mm
200~300mm

鹿児島県 : 250mm
200~300mm



令和元年8月の前線に伴う大雨

- 8月27日から、秋雨前線の活発な活動により九州の広範囲に強い雨域がかかり、長崎県、佐賀県、福岡県を中心に大雨となりました。
- 六角川流域では、24時間で426mmの雨量を記録する大雨となり、佐賀県を流れる六角川や松浦川などで氾濫が発生しました。

河川出水状況（直轄河川）

レベル5（氾濫の発生）：3河川

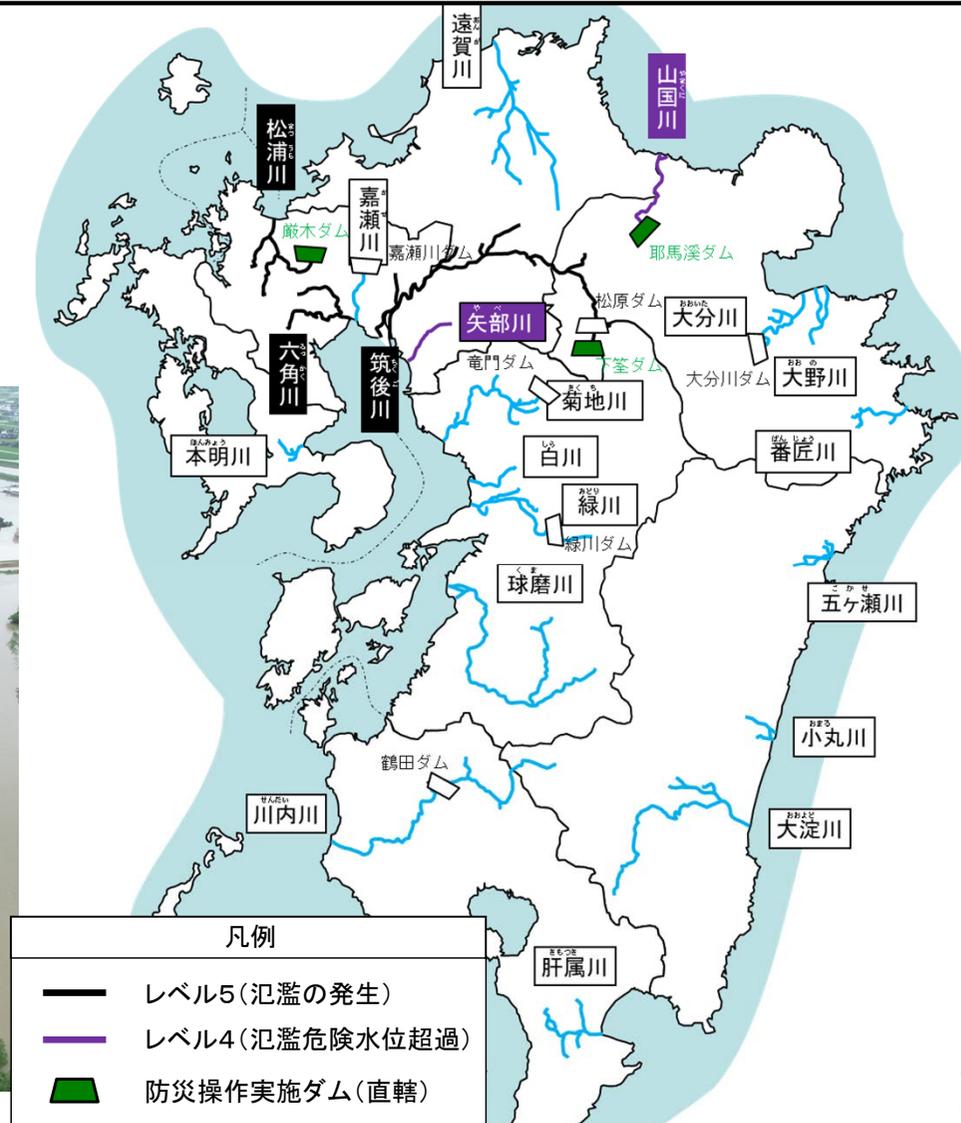
- ・六角川（牛津川）、松浦川（松浦川）、筑後川（巨瀬川）

レベル4（氾濫危険水位超過）：6河川

- ・六角川（六角川）、山国川（山国川）、筑後川（城原川）
矢部川（矢部川）、松浦川（徳須恵川、巖木川）



六角川（佐賀県大町町）



令和元年8月の前線に伴う大雨 六角川流域の浸水被害状況

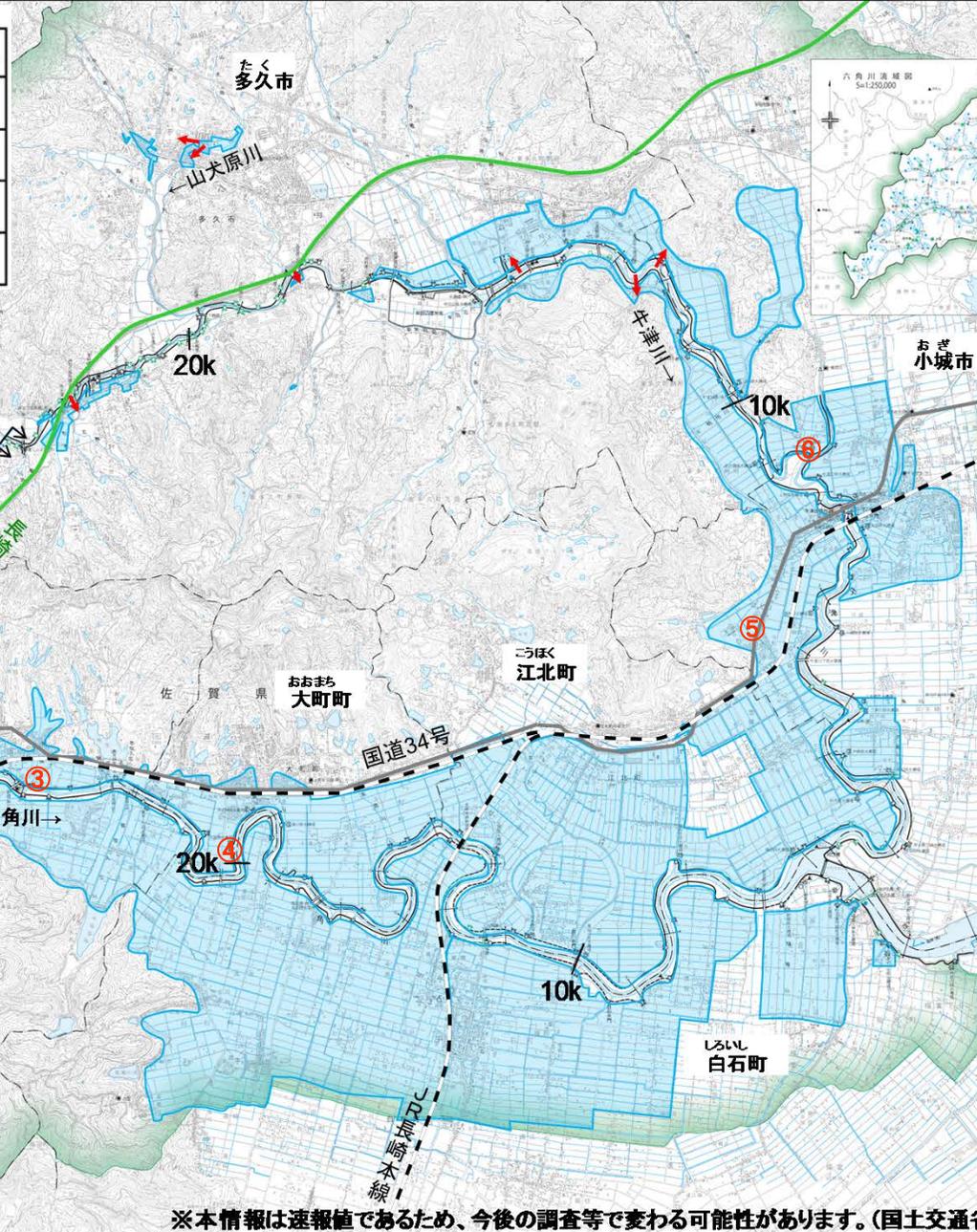
- 床上浸水1,132戸、床下浸水1,804戸、浸水面積約6,900haに及ぶ被害が発生。



一般被害状況

	令和元年8月洪水
床上浸水家屋	1,132戸
床下浸水家屋	1,804戸
浸水家屋合計	2,936戸
浸水面積	約6,900ha

凡例
 浸水範囲
 越水箇所
 大臣管理区間



※本情報は速報値であるため、今後の調査等で変わる可能性があります。(国土交通省、佐賀県調べ)

令和元年8月の前線に伴う大雨 土砂災害



佐賀県^{きんりゅうまち}金立町で発生した
土石流

佐賀県大町町で発生した
ボタ山の崩壊



平成30年7月豪雨西日本豪雨災害（全国での被害状況）

平成30年7月豪雨により、広域的かつ同時多発的に河川のはん濫、がけ崩れ等が発生。これにより、死者**224**名、行方不明者**8**名、住家の全半壊等**21,460**棟、住家浸水**30,439**棟の極めて甚大な被害が広範囲で発生。※：消防庁「平成30年7月豪雨及び台風第12号による被害状況及び消防機関等の対応状況（第58報）」（平成30年11月6日）

■各地で洪水被害が発生

高梁川水系小田川（岡山県倉敷市）

- 左岸及び複数の支川の決壊、右岸の越水により、真備町を中心に浸水被害（約1,200ha、約4,600戸）



肱川水系肱川（愛媛県大洲市）

- 越水等により、大洲市全域で浸水被害（約3,100戸）
東大洲地区の浸水状況



■各地で土砂災害が発生

くちみなみ ひろしまし あさきたく
広島県広島市安佐北区口田南



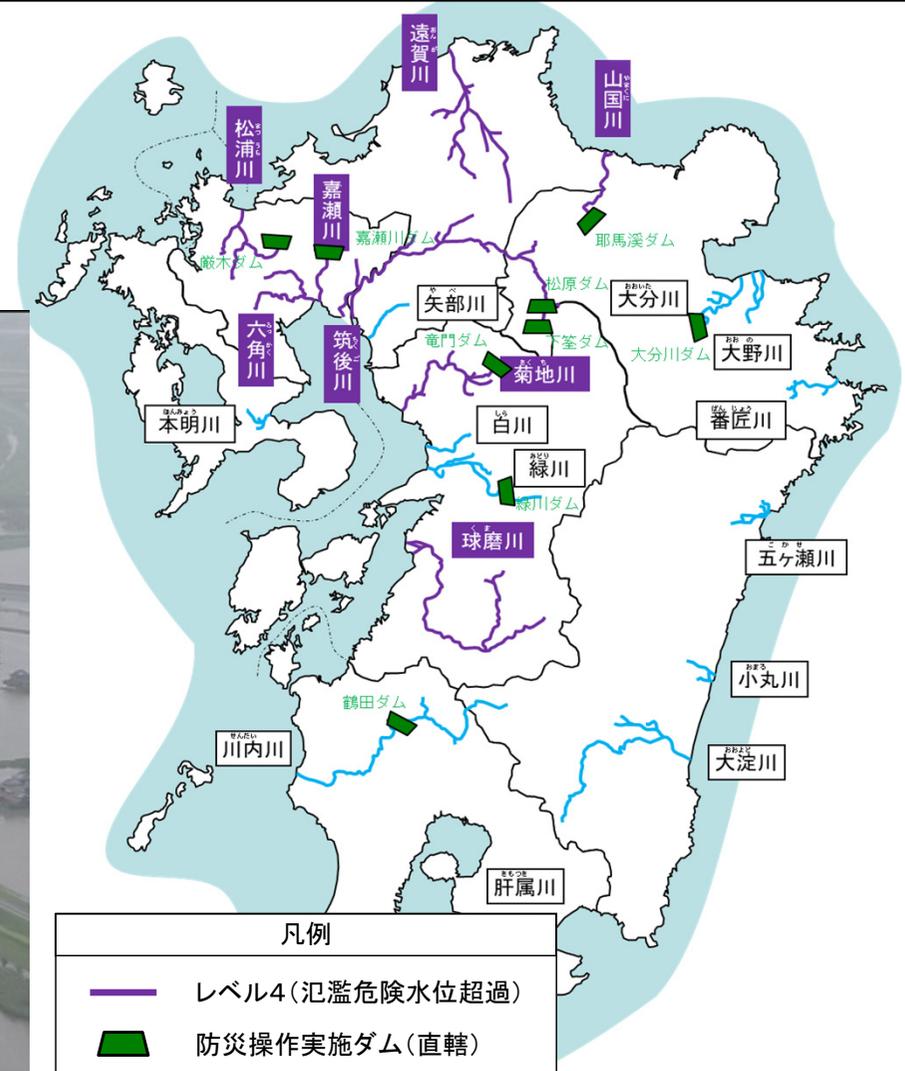
平成30年7月豪雨西日本豪雨災害（九州での被害状況）

- 西日本を中心に、広域的かつ同時多発的に河川の氾濫、崖崩れ等が発生。
- 九州内でも20の水系のうち8水系で氾濫危険水位を超過し、遠賀川、筑後川両水系では9つの水位観測所で観測史上最高水位を記録。
- 遠賀川流域では24時間で350mm、筑後川流域でも24時間で275mmの雨量を記録し、床上浸水961戸、床下浸水1863戸の内水被害が広域的に発生。

河川出水状況（直轄河川）

レベル4（氾濫危険水位超過）： 8水系

- ・遠賀川、筑後川、山国川、松浦川、六角川、嘉瀬川、菊池川、球磨川



平成30年7月豪雨西日本豪雨災害（内水被害が広域的に発生）

福岡県久留米市をはじめとして広範囲で浸水被害が発生

○内水氾濫による浸水被害が西日本を中心に19道府県88市町で発生。
○浸水戸数は全国で約3.0万戸。そのうち内水被害が約1.9万戸。

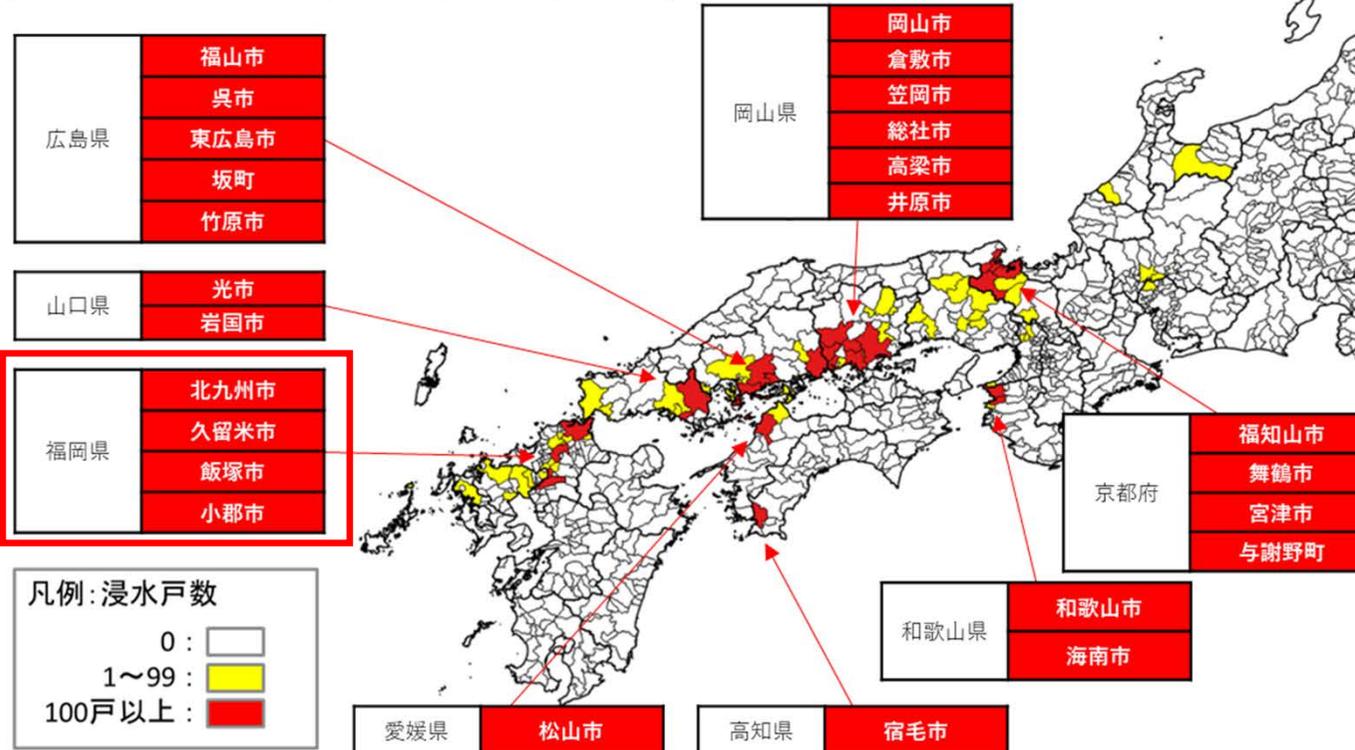
○主な内水被害団体*（被害戸数 1,000戸以上）

都道府県	市	被害状況		
		床上(戸)	床下(戸)	合計
岡山県	岡山市	1,687	3,728	5,415
福岡県	久留米市	423	1,011	1,434
広島県	福山市	751	638	1,389
合計（88地方公共団体）		6,104	12,749	18,853

○内水被害発生団体*（ ）内は市町数

北海道(3)、富山県(1)、石川県(1)、岐阜県(2)、愛知県(1)、京都府(8)、大阪府(4)、兵庫県(8)、和歌山県(3)、岡山県(11)、広島県(10)、山口県(6)、香川県(1)、愛媛県(4)、高知県(1)、福岡県(14)、佐賀県(6)、長崎県(1)、沖縄県(2)

※被害戸数は地方公共団体からの報告による。
なお、外水被害を含む場合があることから、今後変動することがある。



平成30年7月豪雨西日本豪雨災害（土砂災害の発生状況）

福岡県北九州市をはじめとして九州各県で土砂災害が発生

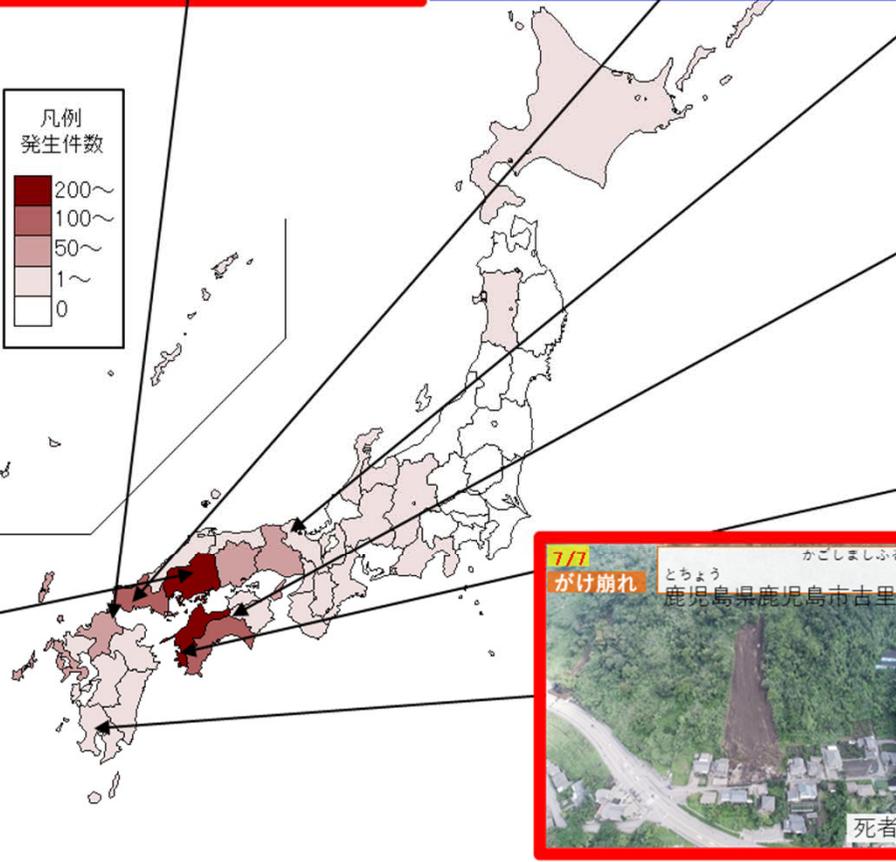
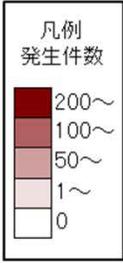
土砂災害発生件数
(7月2日以降を集計)

(都道府県報告)
1道2府28県
2,512件※

土石流等： 769件
地すべり： 55件
がけ崩れ： 1,688件

【被害状況】
人的被害：死者 119名
負傷者 29名
人家被害：全壊 213戸
半壊 340戸
一部損壊 290戸

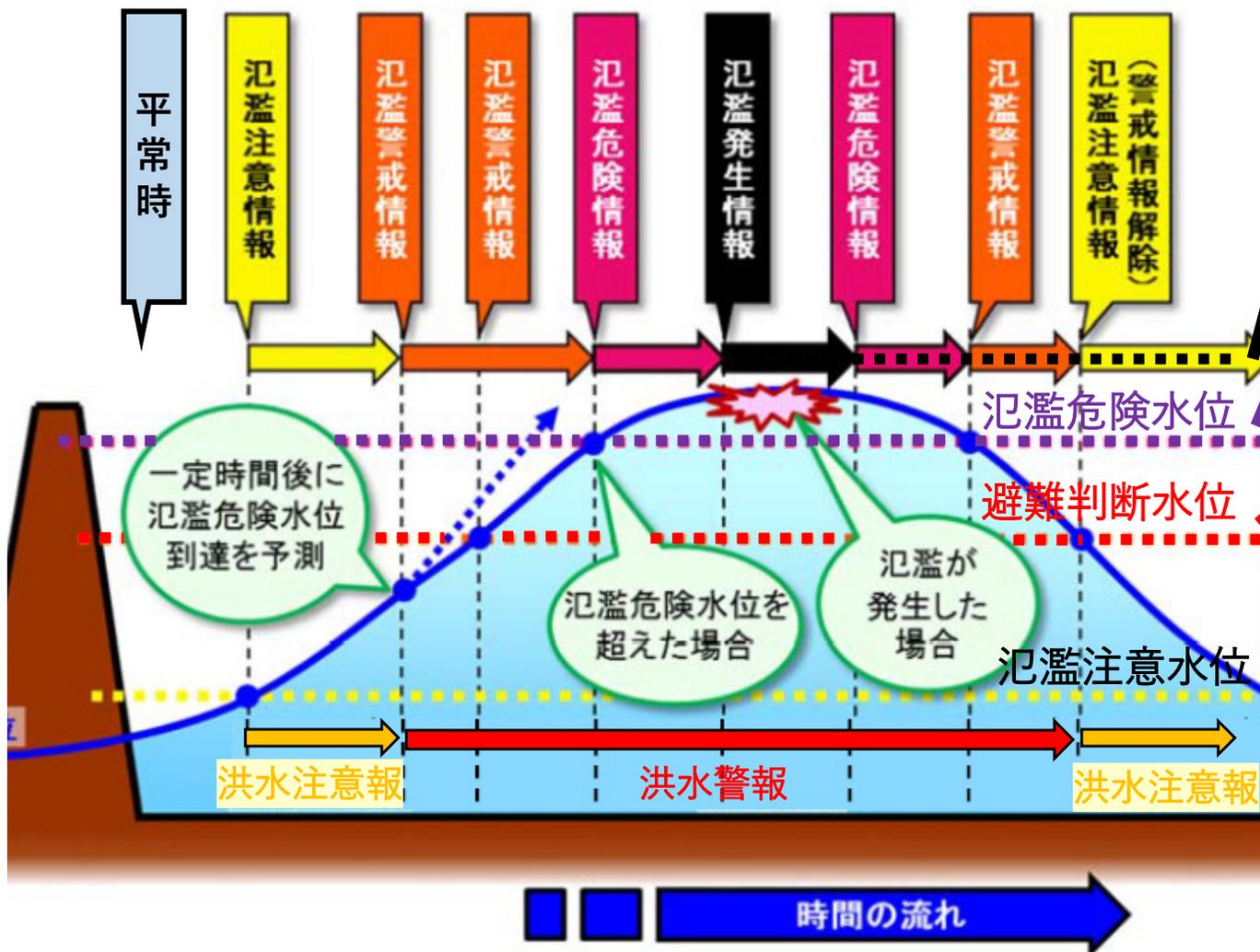
※被害状況等については精査中
(平成30年9月25日時点)



川の水位情報と避難行動等

- 川の水位（上昇）に応じた情報に基づき、**迷わず・空振りをおそれず【避難】行動を！**

避難行動等



【氾濫発生情報】
【L 5 (緊急安全確保)相当】
命の危険、直ちに安全確保

【氾濫危険情報】
【L 4 (避難指示)相当】
危険な場所から全員避難

【氾濫警戒情報】
【L 3 (高齢者等避難)相当】
危険な場所から
高齢者等は避難※

【氾濫注意情報】
ハザードマップ、
気象情報の確認

【平常】
リスク情報の把握
避難訓練の実施

※高齢者以外の人、必要に応じて、普段の行動を見合わせたり、避難の準備をしたり、自主的に避難。

現在の雨や水位の状況

8/12 10:09時点

別画面で最新の状況を説明しています。

The screenshot shows the '川防災情報' (River Disaster Information) website. The main map displays rainfall intensity over Kyushu, with several river gauging stations marked by colored icons. A detailed view of the Karatsu (宮迫) area is shown on the right, indicating a '氾濫注意情報 Lv.2相当' (Flood warning information, equivalent to Level 2) as of 08/12 08:20. The interface includes navigation menus, search functions, and various data filters.

国土交通省
川の防災情報

九州 2021/08/12 10:09

発表情報概況

洪水予報等 ダム放流通知

城原川・佐賀江川
氾濫注意情報 Lv.2相当 08/12 08:20

基準値超過観測所一覧

水位観測 雨量 水位計

宮迫【基準観測所】

「川の防災情報」での予測水位の提供について

○指定河川洪水予報で発表された6時間先の予測水位については、「川の防災情報」ウェブサイトにおいて基準水位観測所の水位グラフで確認が可能。

注意：表示されている予測値は洪水予報を発表した時点の値であり、時間が経過している場合実際との乖離が大きくなっていることがある。

国土交通省 川の防災情報

鹿児島県鹿屋市

2021/06/12 12:10 (過去)

河川予警報一覧

- 洪水予報: 2021/06/12 11:50
【警戒レベル2相当情報 [洪水]】肝属川水系では、当分の間、氾濫注意水位付近の水位が続く見込み
- 氾濫注意情報
- 水防警報: 2021/06/12 11:35
王子橋 水防機関は出動してください。
- 出動

観測所情報

王子橋 肝属川水

最新観測値 2021/06/12 12:10

水位グラフ

最新観測値 2021/05/20 16:30

イメージ

6時間先までの予測水位を水位グラフで表示

水位観測所の位置を地図上に表示

指定河川洪水予報が発表された河川に着色

注意書きを記載

※表示されている予測値は11時40分時点の値です。時間が経過している場合、実際との乖離が大きくなっていることがあるのでご注意ください。

※表示されている予測値は11時40分時点の値です。時間が経過している場合、実際との乖離が大きくなっていることがあるのでご注意ください。

水位: 2.67m ↓

下流観測所: 3.41m ↓

- 自宅周辺の雨の状況や河川の水位の状況は国土交通省川の防災情報で確認が可能！

川の防災情報

→ ENGLISH 国土交通省

任意の地点を登録

→自宅周辺などローカルな情報を手に入れやすく

情報の探し方を選ぶ

サイト内検索

フリー検索 市町村名から検索 河川名から検索 観測所名から検索

検索したいキーワードを入力してください（最大...） 検索

地図から探す

市町村から探す

地図から探す

レーダ雨量、河川水位、カメラ映像、ダム情報等を地図上でまとめて表示

情報を並べてみる

【次ページ参照】

並べて見る



気象や水害・土砂災害に関する今の情報を確認できます。（情報マルチモニタ）

【注意点】

- I E（インターネット 익스プローラ）では表示できません。
- 閲覧の際は、「Google Chrome」「Microsoft Edge」「Safari」からご覧ください。12



- 雨や水位の情報その他、ダムの情報、浸水や土砂災害の危険度の情報、自治体の避難情報についても最新の情報が確認可能！

未登録

地点登録

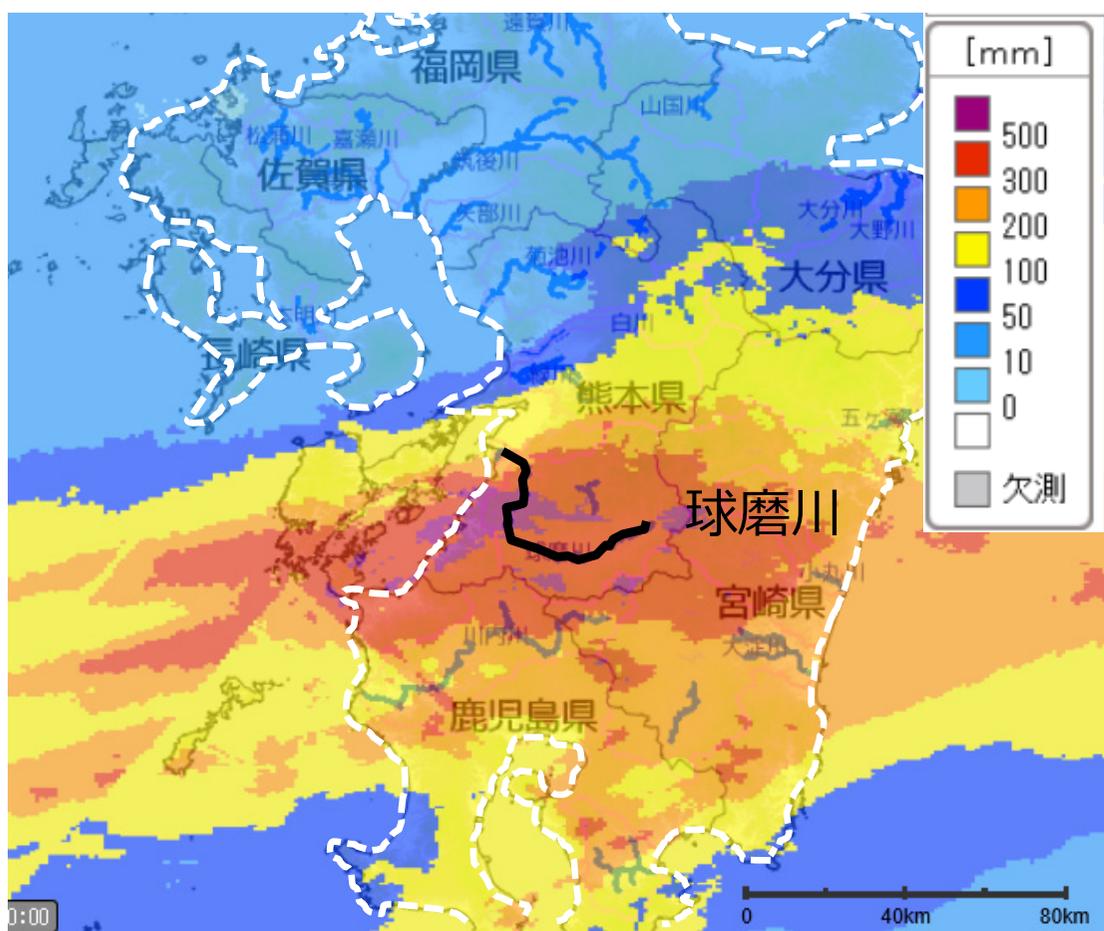
九州をクリック

The screenshot displays a dashboard with the following panels and callouts:

- 九州の状況** (Kyushu Status) / **その他の情報** (Other Information)
- レーダ雨量 (XRAIN)** (Radar Rainfall)
- 気象警報・注意報、土砂災害警戒情報** (Weather Alerts, Warnings, Landslide Disaster Precaution Information)
- 河川カメラ(→地域のカメラへ)** (River Camera)
- 川の水位情報** (River Water Level Information)
 - 川の水位情報
 - ・通常水位計
 - ・危機管理型水位計
 - ・河川監視カメラ情報 (CCTV、簡易型)
- 浸水の危険性が高まっている河川** (Rivers with Increasing Flood Risk)
 - 浸水の危険性が高まっている河川
- 洪水予報、水位到達情報** (Flood Forecast, Water Level Arrival Information)
 - 洪水予報の発表地域
- ダム放流通知** (Dam Discharge Notification)
 - ダムの放流通知
- 洪水キキクル (危険度分布)** (Flood Kick-out (Danger Level Distribution))
 - 洪水キキクル
 - ・気象庁
 - 浸水害の危険度
- 土砂キキクル (危険度分布)** (Landslide Kick-out (Danger Level Distribution))
 - 土砂キキクル
 - ・気象庁
 - 土砂災害の危険度
- 水害リスクライン** (Water Disaster Risk Line)
 - 水害リスクライン
 - ・平面的なリスク情報
 - ・河川カメラ
- 避難情報** (Evacuation Information)
 - 避難情報
 - ・Lアラートの情報をもとに自治体発令状況一覧、詳細
- 被害情報** (Damage Information)
 - 被害情報

令和2年7月球磨川豪雨被害

- 梅雨前線が停滞し、7月3日～8日にかけて、線状降水帯が九州で多発。
- 球磨川では、大雨により氾濫が発生し、人吉市、球磨村、芦北町、八代市坂本では記録的な浸水深となり多数の浸水被害が発生。
- 熊本県の人的・物的被害※：死亡者数65人、住家屋被害7,412棟。



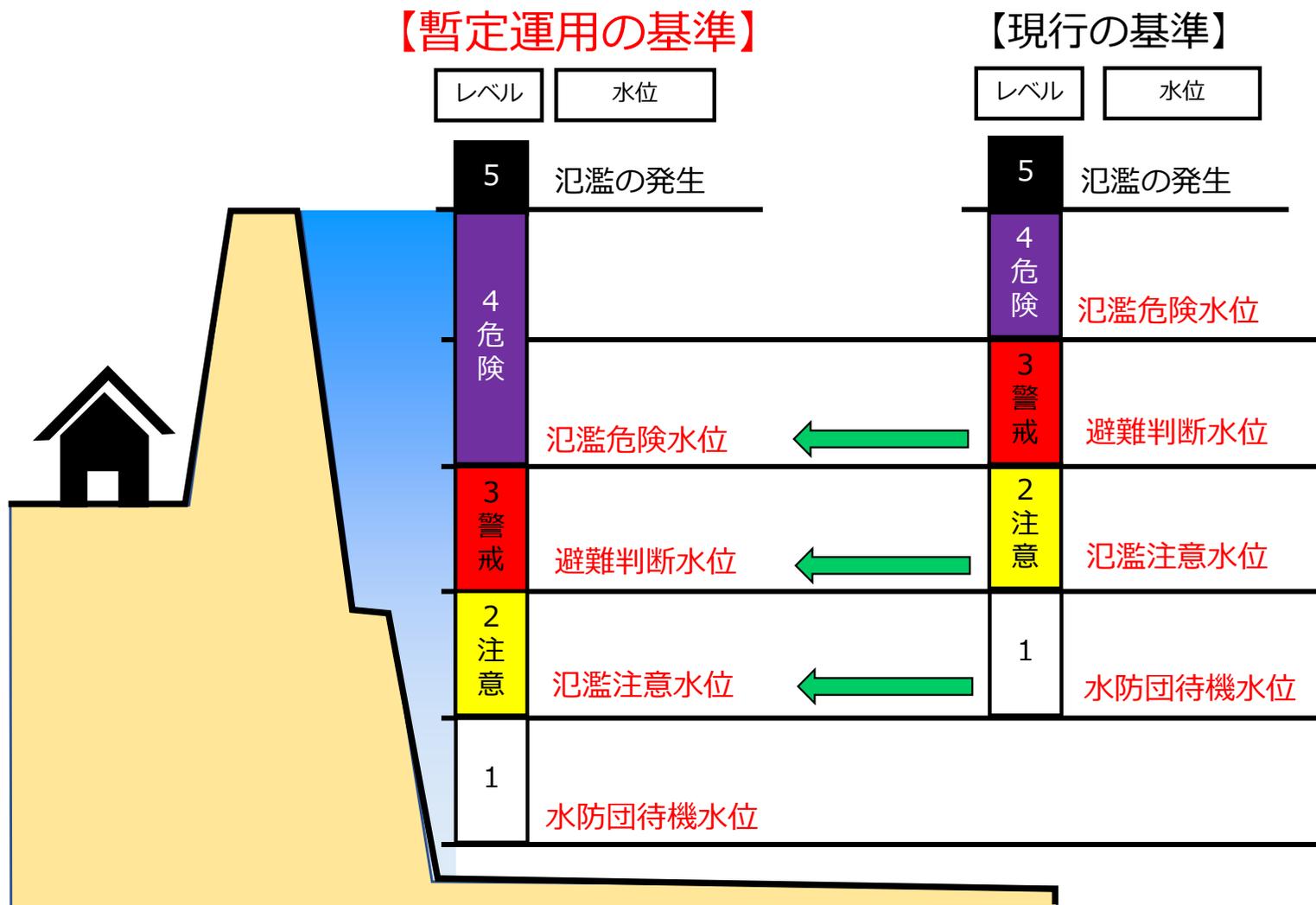
7/3 6:00～7/4 10:00累積レーダ雨量
(統一河川情報システムより作成)



※内閣府とりまとめ資料(令和3年1月時点)

【球磨川】 基準水位観測所 暫定基準運用について

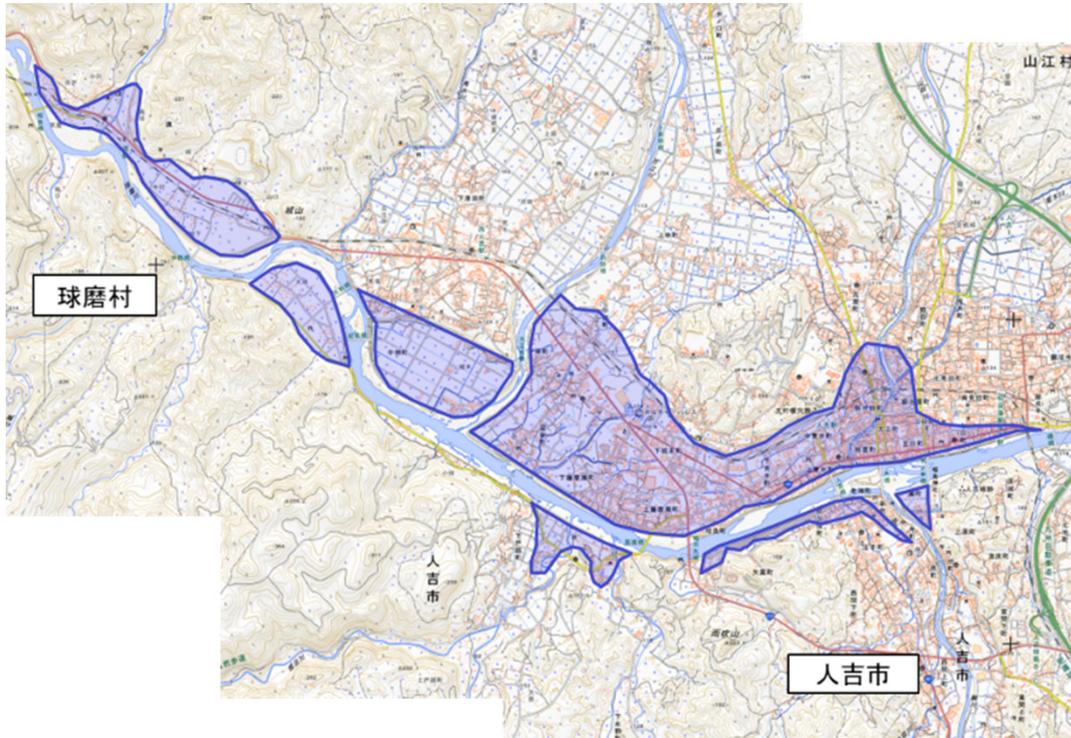
- 球磨川の多良木、一武、人吉、渡、大野、萩原の6観測所における洪水予報については、令和2年7月5日より被災状況を踏まえた暫定基準での運用を実施中



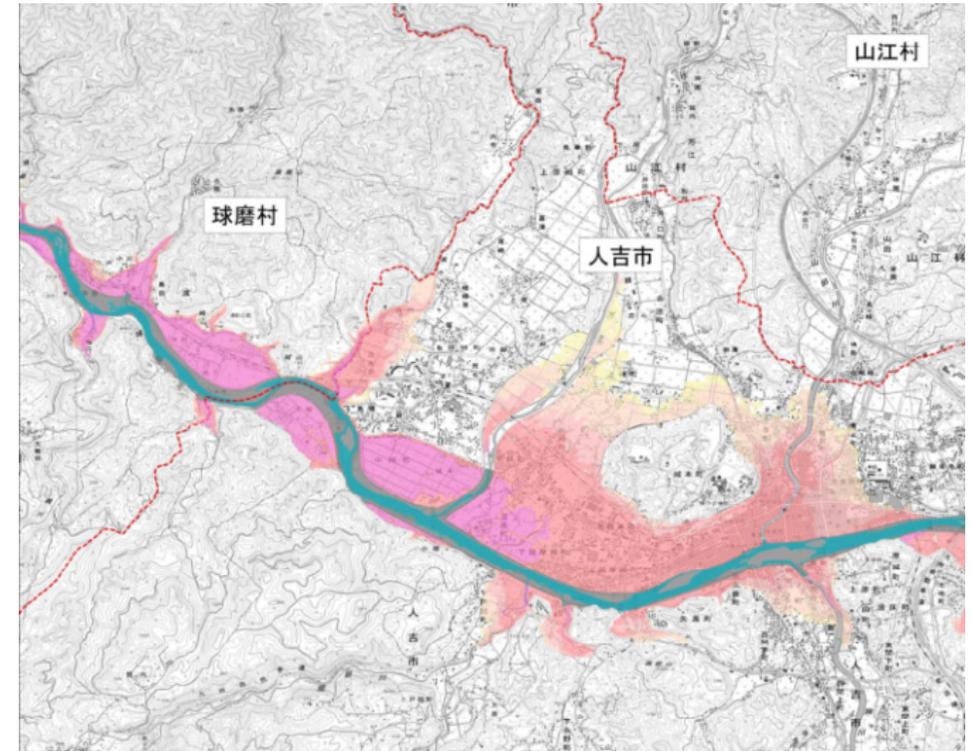
暫定運用のイメージ

球磨川における浸水範囲と浸水想定区域図

球磨川水系球磨川(熊本県人吉市)における浸水状況



浸水想定区域図(想定最大規模)



本情報は速報値であるため、今後の調査等で変わる可能性があります。

※どこでも同じような浸水が発生する可能性がある。

国土交通省「ハザードマップポータルサイト」

- お住まいの地域のリスクは、ハザードマップポータルサイトで確認可能！

ハザードマップポータルサイト

～身のまわりの災害リスクを調べる～

使い方 利用規約 問い合わせ 関連情報

重ねるハザードマップ

～災害リスク情報などを地図に重ねて表示～

洪水・土砂災害・高潮・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示できます。

[地図を見る](#)

わがまちハザードマップ

～地域のハザードマップを入手する～

各市町村が作成したハザードマップへリンクします。地域ごとの様々な種類のハザードマップを閲覧できます。

[地図で選ぶ](#)

場所を入力

例：茨城県つくば市北郷1 / 国土地理院

まちを選ぶ

都道府県 市区町村

表示する情報を選ぶ

洪水(想定最大規模) 土砂災害 高潮(想定最大規模)
津波(想定最大規模) 道路防災情報 地形分類

過去の代表的な災害事例をみる



前線の停滞により数日間断続的に
激しい雨や非常に激しい雨が降る恐れ

洪水氾濫、内水氾濫、土砂災害に
嚴重に警戒が必要！

明るい時間での避難、早めの避難等

「命を守るため最善の行動」
をお願いします。

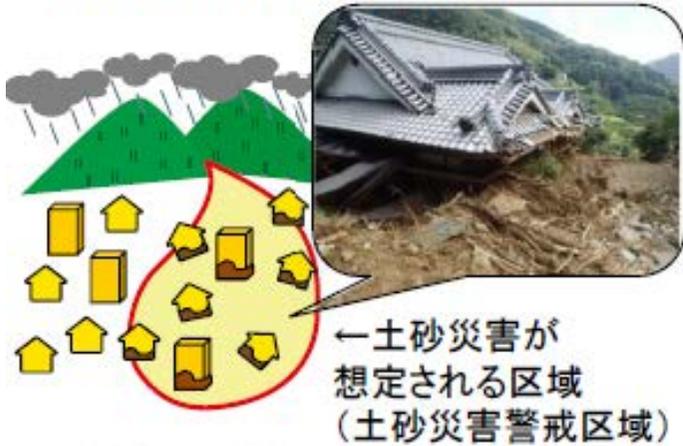
参考資料等

土砂災害の特性を考慮した避難の考え方

- 土砂災害警戒区域の「内」から「外」へ避難しましょう
- 避難場所の安全性を確認しましょう

避難場所が土砂災害警戒区域の外にあるか、
事前に土砂災害ハザードマップ等を確認

※指定避難所以外に避難所が開設される場合があります。市町村からの情報に注意しましょう。



出典：石川県中能登町ホームページ

- 避難場所に避難できない場合の「次善の策」を知っておきましょう

近隣の堅牢な高い建物(鉄筋コンクリート造等)の高層階へ「移動」



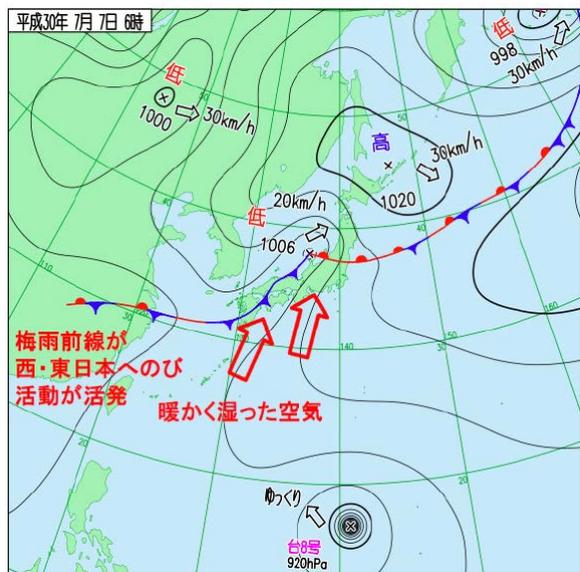
自宅外への避難に余裕がない場合や、既に自宅の外が危険な状況の場合、斜面と反対側の2階以上の部屋に「退避」



平成30年7月豪雨の降雨の特徴(概要)

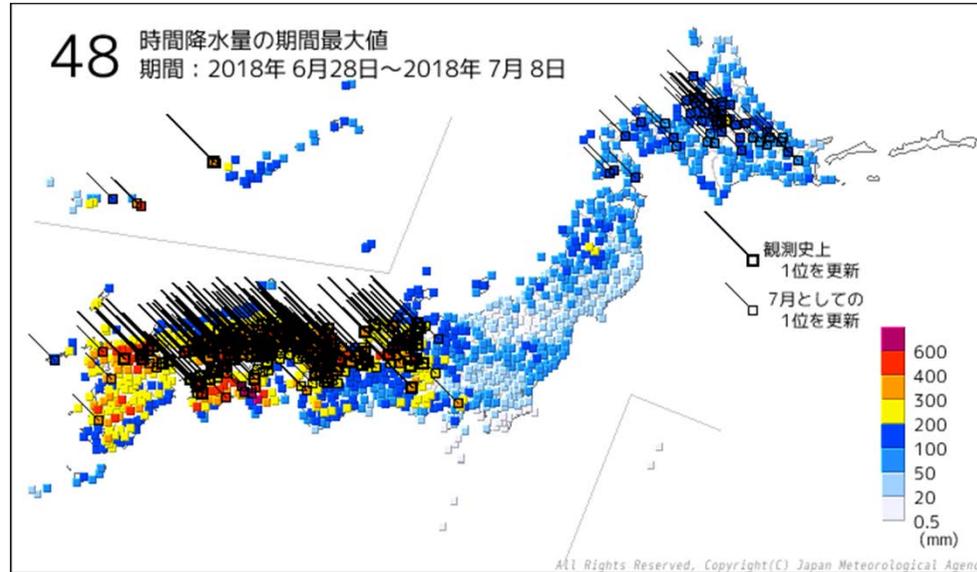
- 6月29日に日本の南で発生した台風第7号は東シナ海を北上し、対馬近海で進路を北東に変えた後、7月4日に日本海で熱帯低気圧に変わった。その後、8日にかけて西日本に梅雨前線が停滞し、非常に暖かく湿った空気が供給され続け、大雨となりやすい状態が続いた。
- このため、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となり、6月28日～7月8日までの総降水量が四国で1,800mm、東海で1,200mmを超えるところがあるなど、7月の月降水量平年値の4倍となる大雨となったところがあった。
- 特に長時間の降水量が記録的な大雨となり、アメダス観測所等(約1,300地点)では24時間降水量は77地点、48時間降水量は125地点、72時間降水量は123地点で観測史上1位を更新した。

停滞した梅雨前線に暖かく湿った空気が供給



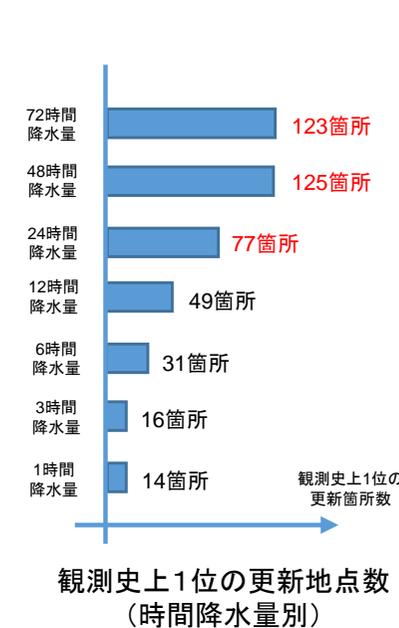
実況天気図(2018年7月7日6時00分時点)

広い範囲で記録的な大雨



48時間降水量の期間最大値(期間2018年6月28日～7月8日)

長期間の大雨



※気象庁ウェブサイトを基に作成

【球磨川】 基準水位観測所 暫定基準運用について

氾濫危険水位等の一覧（暫定基準の運用）

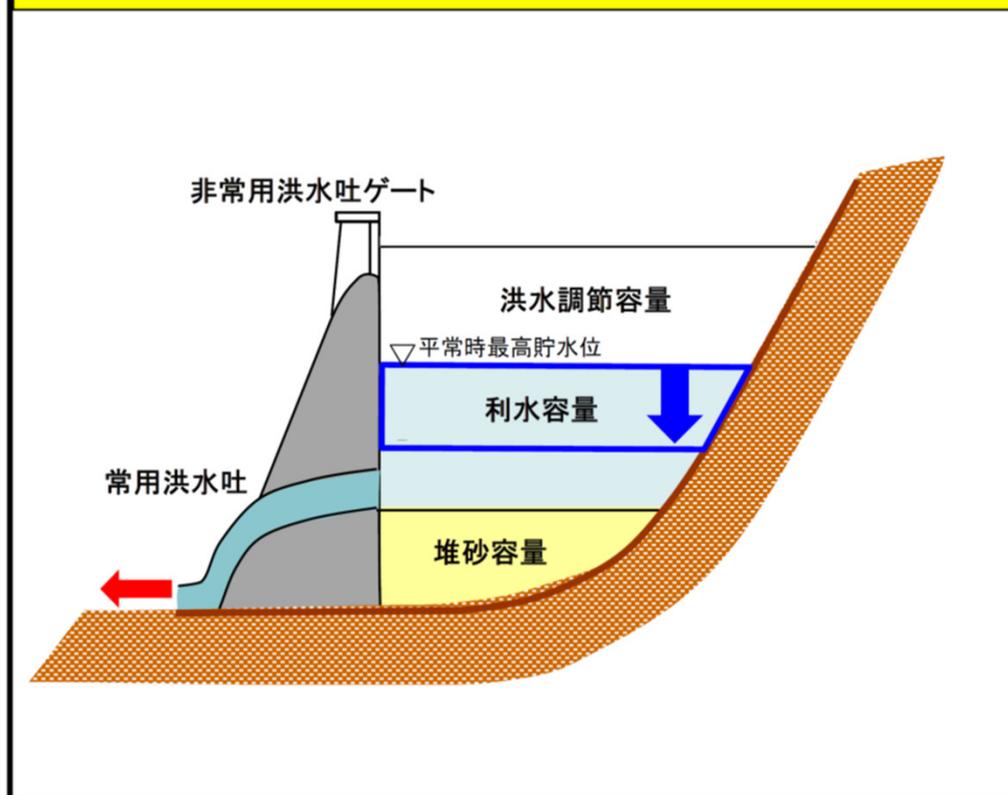
水系名	河川名	洪水予報 基準地点	水防団待機水位	氾濫注意水位	避難判断水位	氾濫危険水位	計画高水位
			レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
球磨川	球磨川	金剛※1	2.50	-	-	3.5※2	4.37
		萩原	1.60	2.00	3.50	4.40	5.36
		横石※1	4.50	5.50	-	-	10.52
		大野	5.50	6.50	8.00	10.90	14.81
		渡	3.80	5.00	6.00	7.60	11.33
		人吉	1.50	2.00	3.00	3.20	4.07
		一武	2.90	3.50	4.30	4.40	5.68
		多良木	1.60	2.00	3.50	3.60	4.44
	川辺川	柳瀬※1	5.00	6.00	-	-	6.00

※1 危険箇所の設定がなく、洪水予報基準観測所でない観測所

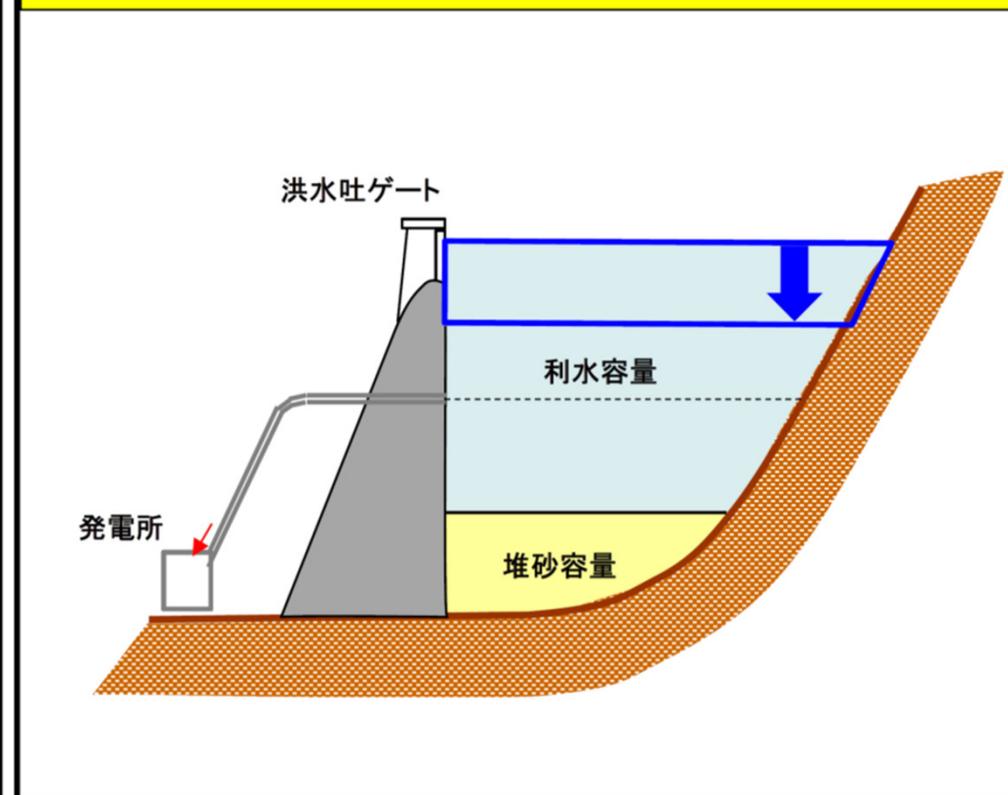
※2 氾濫危険潮位

利水者の協力のもと、利水のための貯水を事前に放流してダムの貯水位を低下させ、一時的に治水のための容量を確保するもの

多目的ダム事前放流



利水ダム事前放流



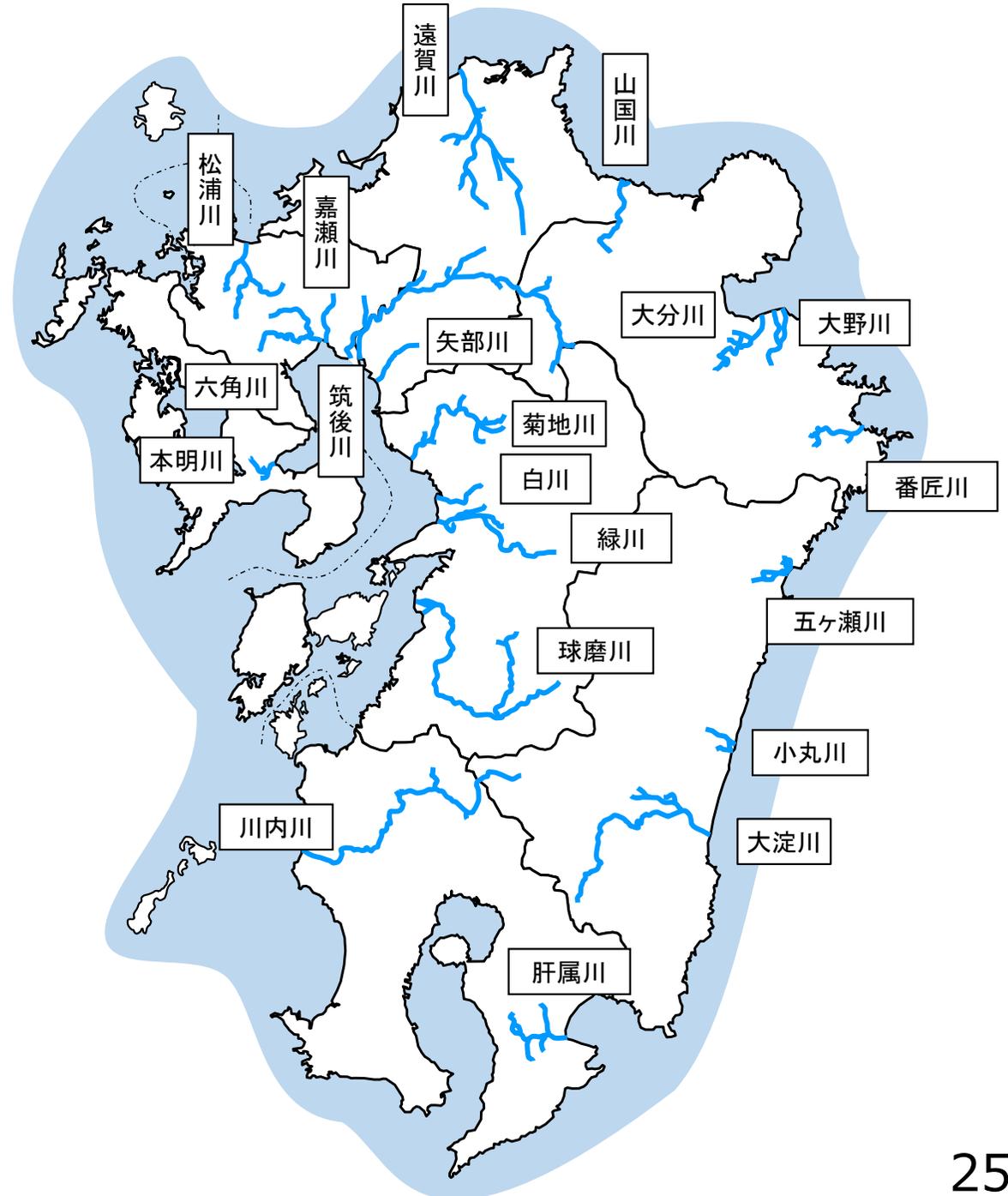
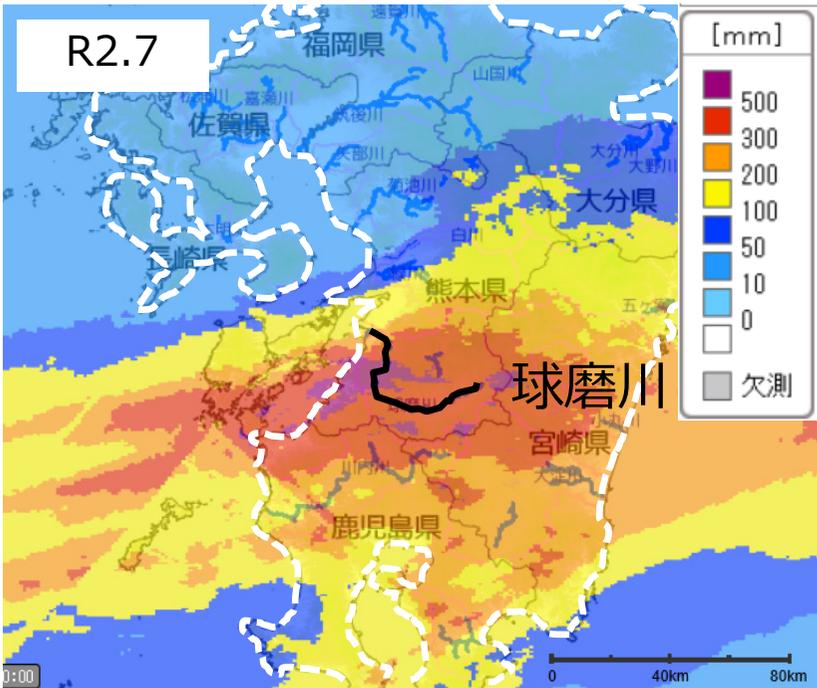
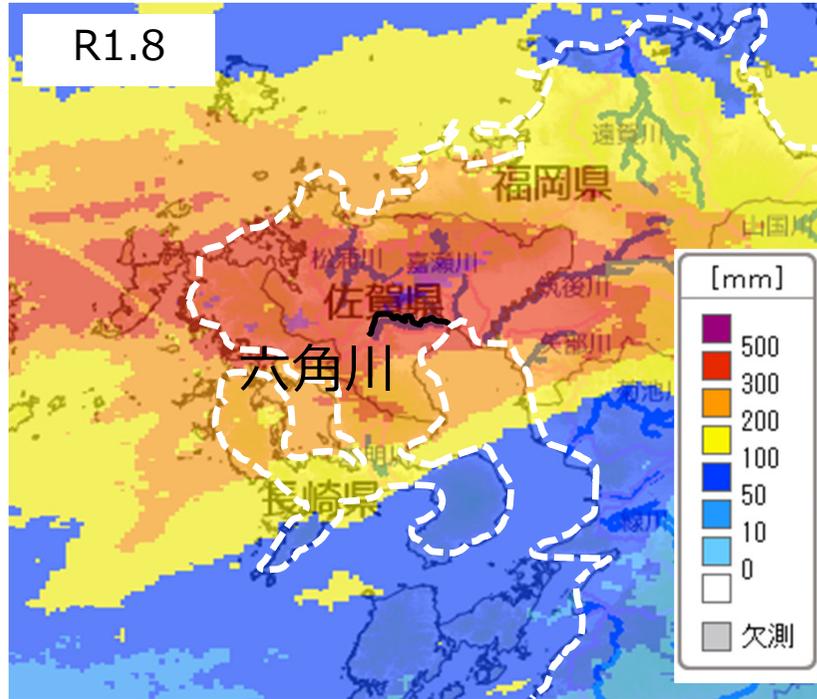
梅雨時期の甚大な水害や土砂災害は梅雨末期に発生！

- 近年、西日本で甚大な被害が発生した梅雨の豪雨は、梅雨末期に発生。
- 豪雨に伴う水害・土砂災害へ一層の警戒が必要な時期。

 : 主な発災時期

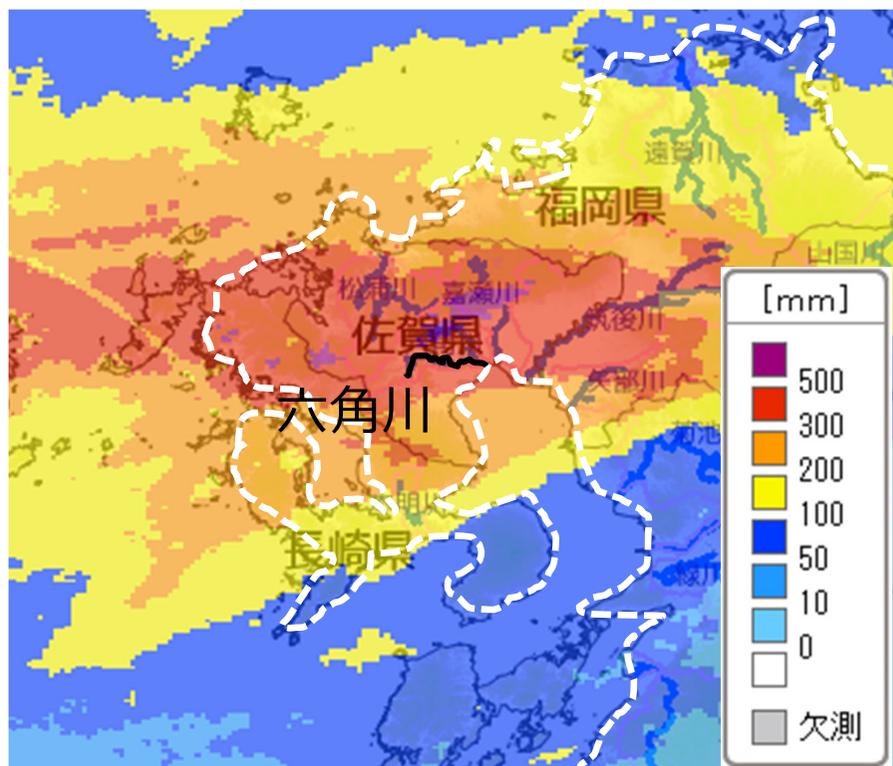
< 災害名と被害概要 >	6月			7月		
令和2年7月豪雨 球磨川氾濫 遠賀川、筑後川、大分川氾濫	梅雨入り: 6/11			梅雨明け 7/30		
平成30年7月豪雨 遠賀川、筑後川内水、西日本豪雨災害	6/5			7/9		
平成29年7月九州北部豪雨 筑後川水系赤谷川、花月川等氾濫、土砂災害	6/20			7/13		
平成24年7月九州北部豪雨 山国川、筑後川水系花月川氾濫。 菊池川、白川氾濫、阿蘇土砂災害 矢部川堤防決壊	5/30			7/23		
平成21年中国・九州北部豪雨 山口県、福岡県の洪水氾濫、土砂災害	6/3			8/4		
平成18年7月鹿児島県北部豪雨 川内川氾濫、鹿児島県の土砂災害	6/8			7/26		
平成15年7月豪雨 遠賀川氾濫、水俣土石流災害	6/9			7/31		

線状降水帯と河川の位置（国管理河川）の関係について



線状降水帯による近年の災害の事例（R1 六角川）

- 8月27日から、秋雨前線の活発な活動により九州の広範囲に強い雨域がかかり、長崎県、佐賀県、福岡県を中心に大雨となりました。
- 多久市で24時間最大雨量476ミリの雨量を観測し、床上浸水1,132戸、床下浸水1,804戸の被害が発生しました。



8/27 00:00～8/28 08:00累積レーダ雨量
(統一河川情報システムより作成)

六角川（佐賀県大町町）

